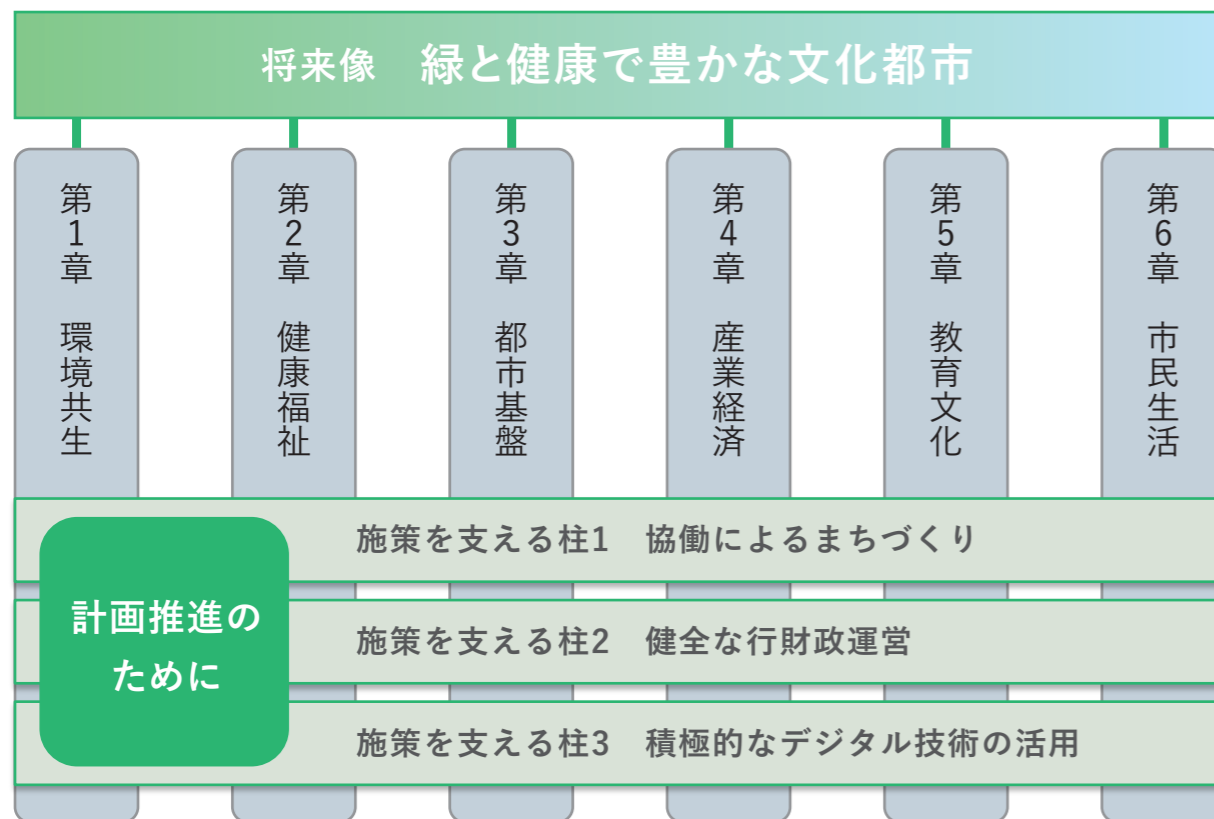


## 計画推進のために

将来像の実現に向けて推進する全ての施策を支える柱として、「協働によるまちづくり」、「健全な行財政運営」、「積極的なデジタル技術の活用」を定め、本計画の実効性を高めます。



### 施策を支える柱1 協働によるまちづくり

- 本市では、平成31(2019)年に「狭山市協働によるまちづくり条例」を制定し、“自分たちのまちを、自分たちでつくる”を合言葉に、市民と力を合わせて魅力あふれるまちづくりを進めており、引き続き、企業や教育機関も含めた多様な主体と連携しながら、協働に対する理解の深化や情報の提供、担い手の裾野拡大を図ります。
- 広報紙や公式ホームページ、SNS、メール配信サービスなどによる情報の発信や、オープンデータの公開による情報の共有を図るとともに、市政に関する意見や要望などの市民ニーズを把握するため、パブリックコメントなどの広聴活動を推進します。
- 市民とともに、本市の魅力を発信するシティプロモーション活動を推進し、認知度の向上と市民の郷土愛の醸成を図ります。

#### 関連個別計画

### 施策を支える柱2 健全な行財政運営

- 中期的な視点に立った財政見通しのもと、将来に過度な負担を残さないよう、事業の選択と集中による財政運営の健全化を図ります。
- 受益者負担の原則に基づいた使用料や手数料などの適正化や後年度負担を考慮したうえでの市債の積極的な活用、公共施設などの広告媒体としての活用、ふるさと納税制度の活用などを通じ、安定的な財源の確保を図ります。
- 近隣自治体との連携による行財政資源の広域的な活用や、事務事業の包括的民間委託や指定管理者制度の導入などの公民連携による民間の経営ノウハウの活用により、経費の縮減と行政サービスの向上を図ります。
- 機能的な組織運営の推進と定員管理の適正化に向け、随時の組織体制の見直しと適正な定員管理を行うとともに、活力ある組織を支える職員の育成と最大限のパフォーマンスを発揮できる働きやすい職場環境の整備を推進します。
- 本市が保有する公共施設の多くが築30年以上を経過しているなか、必要な行政サービスを継続的に提供するため、公共施設の予防保全型の維持管理と長寿命化を推進し、ライフサイクルコストの縮減を図るとともに、機能の集約化や複合化などによる公共施設の総量の削減を図ります。

#### 関連個別計画

狭山市行財政改革指針  
 使用料・手数料の適正化に係る基本方針  
 第3次埼玉県西部地域まちづくり構想・計画(ダイアプラン)  
 狭山市定員管理指針  
 狭山市公共施設等総合管理計画  
 狭山市公共施設再編計画

### 施策を支える柱3 積極的なデジタル技術の活用

- 徹底したBPRのもとで積極的にデジタル技術を活用し、「行かない窓口」や「書かない窓口」、「リモート相談」などによる行政手続きにおける市民の利便性向上と負担軽減を図るとともに、より質の高い行政サービスを提供するための内部事務の効率化を図ります。
- デジタル技術の活用にあたっては、誰もがデジタルの恩恵を享受できるよう、地域社会全体での情報リテラシーの向上を図るとともに、効率的かつ安全に行政情報システムを運用するために、システムの最適化による全体コストの削減と技術的、人的な対策を組み合わせた強固な情報セキュリティを確保します。

#### 関連個別計画

狭山市DX推進計画